

説教余滴 2019年3月24日「ヒガンサクラ」

白根貞夫さんの納骨式のため、田澤さんのご好意で車で運んでいただきました。大矢部の市営公園墓地へ行く途中、早咲の桜並木がありました。紅色が濃くてきれいでした。

なんだろうか。帰ってから気付きました。彼岸ごろに咲く《ヒガンサクラ》。

本州～九州，東アジアの山中に自生するバラ科の落葉高木。花期が早く，春の彼岸のころ咲くのでこの名がある。関東で多く見られるのでエドヒガン，アズマヒガンとも。

日本産の桜は大きくは野生種、自然雑種、栽培品種に分類され、野生種にはヤマザクラ群（山桜、大山桜、霞桜など）、ヒガンザクラ群（江戸彼岸）、チョウジザクラ群（丁字桜、奥丁字桜）などがあり、自然雑種にはエドヒガンとヤマザクラの間（高根大山桜）などがある、と記述されています。栽培品種の系統にはエドヒガン系の栽培品として、越の彼岸桜、紅枝垂、八重紅枝垂、糸桜などがあるそうです。

野生している桜のなかには、樹齢1000年を超えた巨木として天然記念物に指定されているものもあります。

「新日本名木100選」に選ばれた桜は以下の通り。推定樹齢700年、2000年以上の江戸彼岸が選ばれている。岩手県盛岡地方裁判所構内、**石割桜**（推定樹齢360年・彼岸桜）

福島県三春町滝桜（久保の**三春滝桜**）推定樹齢1000年・紅枝垂桜）

東京都大島町、**大島の桜株**（推定樹齢800年・大島桜）

山梨県武川村山高、**山高神代桜**（推定樹齢2000年以上・江戸彼岸）

岡山県真庭郡の**醍醐桜**（推定樹齢700年・江戸彼岸）”

上野公園の国立博物館前、向かって右側に彼岸桜が20本ほど並木を作っていたと思います。緋寒サクラ（寒緋サクラとも）も似ていますが、もっと早い時期ではないでしょうか。主な分布地は沖縄や台湾、九州南部。この辺ではソメイヨシノは育ちません。そのため開花宣言の標本木はヒカンサクラとなります。